

町田市「心のバリアフリーハンドブック」改訂版 編集

心のバリアフリーハンドブック(改訂版)作成業務委託

2007～2008年度

東京都 町田市 地域福祉部 福祉総務課

<http://www.city.machida.tokyo.jp/iryoyomachi/bf/bf02.html>

業務概要

目的

2003年3月に発行され、小学校の授業や福祉研修等に活用されている「心のバリアフリーハンドブック」に、ノーマライゼーションの進展を踏まえて、知的障害者や精神障害者の他、多様な市民と共に暮らす地域づくりを分かりやすく紹介することを目的に改訂版を作成した。(2003年の初版は弊社が町田市より受託して編集した)

概要

市民・事業者等で構成されている町田市福祉のまちづくり推進協議会の中に「心のバリアフリー部会」を設け、編集の検討を行った。また、改訂版では『外見ではわからない障害のある人を理解しましょう』と、知的なことや精神面から配慮が必要な人についてのページを追加した。

心のバリアフリーハンドブックの概要

まちの中で困っています

困っていることを左ページに記載し、『私たちにできること』を右ページに記載。

例) 電車に乗るとき、買い物をするとき、人通りの多い道を歩くとき

外見ではわからない障害のある人を理解しましょう

知的なことなどで配慮が必要な人、精神面から、人との関わりが難しく、配慮が必要な人について、それぞれ「行動を理解してください」「私たちにできること」の2点について記載。

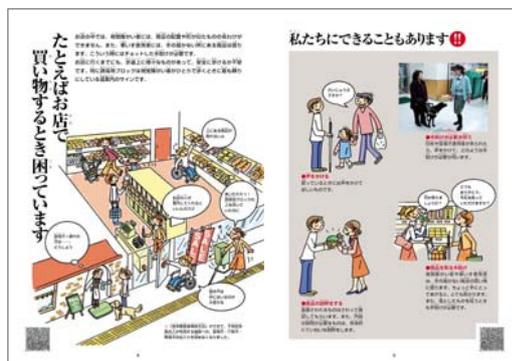
※ 精神面から配慮が必要な人のページに掲載されているイラストは、「心のバリアフリー部会」委員の精神障害者がスケッチしたものを元に作成しています。

コミュニケーション

コミュニケーション支援ボードやまちの中で目にするマークについて紹介している。

お手伝いの方について

車いす使用者の介助方法、視覚障害者のガイドヘルプ、基礎的な手話を紹介している。



関連業務

市内の小学校へ出張講座

心のバリアフリー部会のメンバーが小学4年生を対象に、障害や普段の生活について話をしました。

《子どもたちの感想文》一部抜粋

- ・ 今度、目の不自由な人とかがいたら、私は不自由な人のお手伝いがしたいです。点字ブロックとかに自転車を置いたりしません。
- ・ 私は初めてうつ病という病気を知りました。でも〇〇さんが紙芝居を作ってくれたので、うつ病はどういう病気かわかりました。
- ・ 前に私たちは学校でヘッドホン体験をしました。聞こえにくくて大変でした。耳が聞こえなくなるということはこういうことなんだな、と思いました。

